

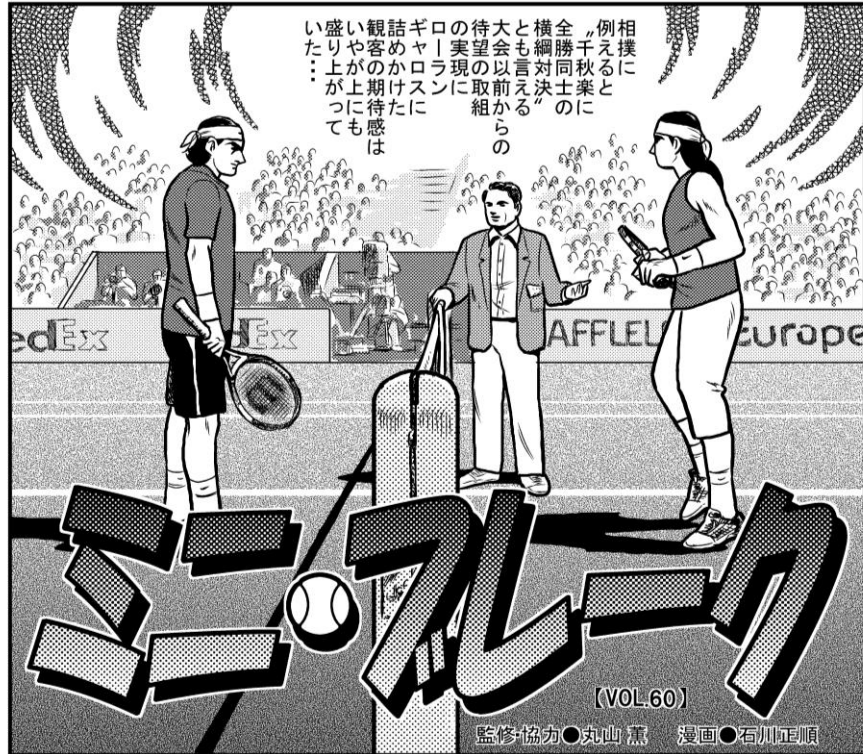
2006年の全仏オープン男子決勝は...



過去7度の
G.S.決勝で
負け知らずの
第1シード
R.フェデラー
と...

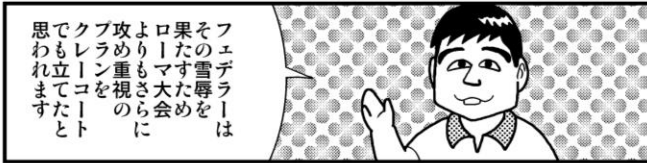


クレイコートで
実に59連勝中の
第2シード
R.ナダルの
激突!



例え相撲に
全千秋と
横網対決の
大会も言え
待望の取組
ギョロラに
観客の期待
盛り上がる
た...

ニッポン
【VOL.60】
監修協力 ● 丸山 薫 漫画 ● 石川正順



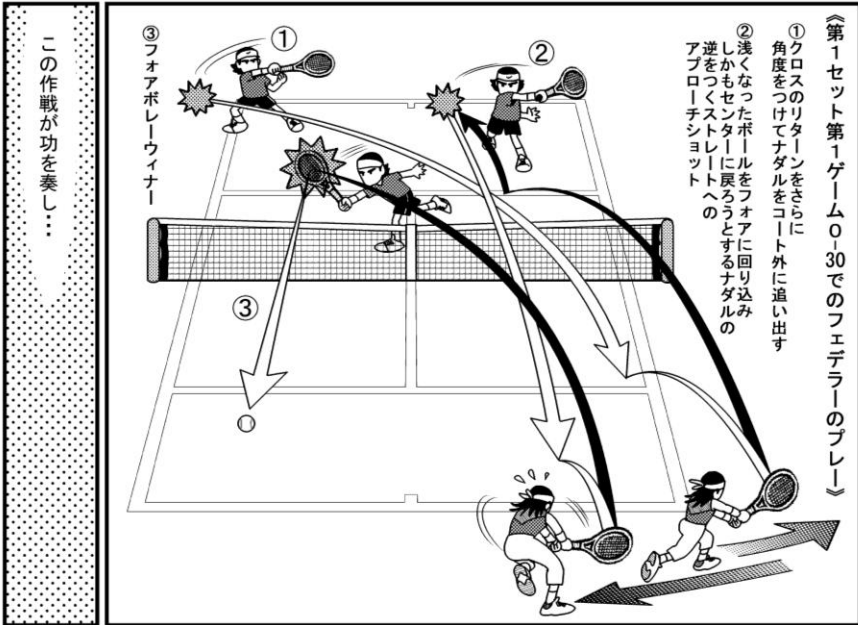
フェデラーは
その雪辱を
果たすため
ローマ大会
よりもさらに
攻め重視の
プランを
クレイコート
でも立てたと
思われます

5月に行われた
全仏の前哨戦とも
ローマ大会でも
2人は決勝で対戦
フェデラーの2度
マツセポイント
はね返して
ナダルが勝利し
ている...



サーブゲームは
もちろんのこと
リターンゲームでも
チャンスがあれば
ポイント前
に攻撃する...

つまり
ポイント
ラリにして
最終的に
ネットを
というイメージ
である



《第1セット第1ゲーム0-30でのフェデラーのプレー》
①クロスのリターンをさらに
角度をつけてナダルをコート外に追い出す
②浅くなったボールをフォアに回り込み
しかもセンターに戻ろうとするナダルの
逆をつくストロークへの
アプローチショット

③フォアボレーウィナー

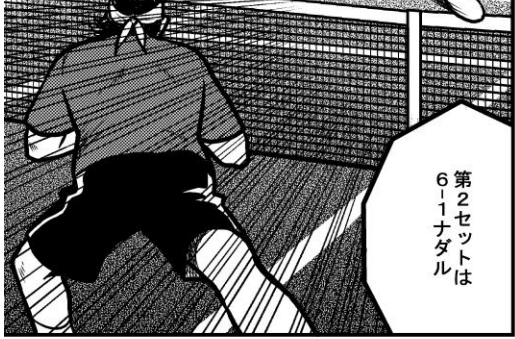
この作戦が功を奏し...



ナダル得意の
バックハンド
を
見事に決められ
ここで流れが
変わり始める



ナダルは
第1セットを
1-6で失った
もの…



第2セットは
6-1 ナダル



40mから
追いつかれた
うえに…

第2セット
第2ゲームでは
フェデラーが



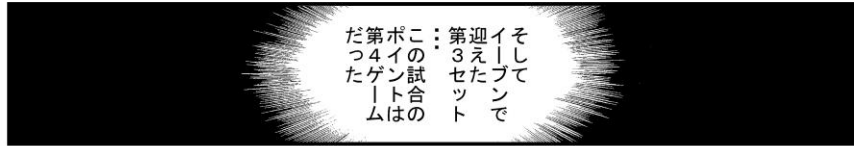
それまで
フェデラーの
バックハンドは
ボールを集めて
バックハンドで
打ち出すという
スタイルだった
が…



このあたりから
ナダルはフェデラーの
意図を察知し



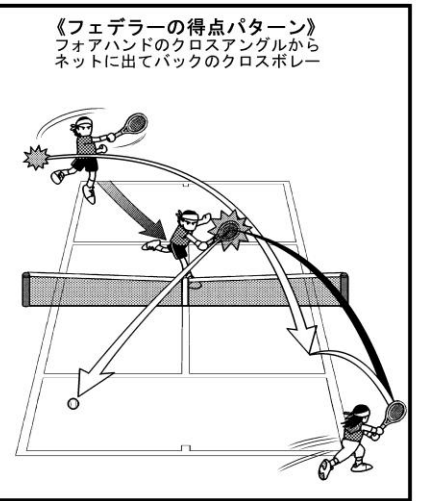
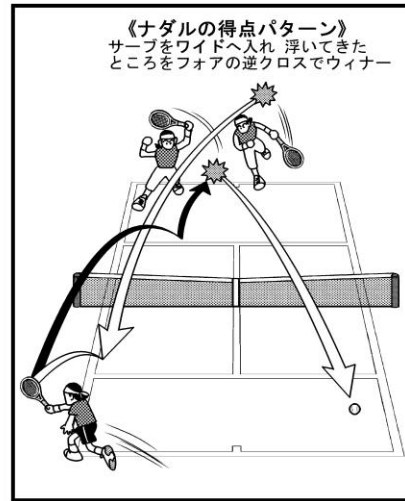
フェデラーは
スレーング
ボレーなどの
空中戦にも
トライして
第1セット
3-0と
リードする
が…



そして
迎えた
第3セット
この試合の
ポイント
は第4ゲーム
だった



また
左利き特有の
外に逃げる
サードハンドを
追いつく…



フェデラーの
お株を奪う
ようなドロップ
ショットを
決めるなどして
挽回する
成功する

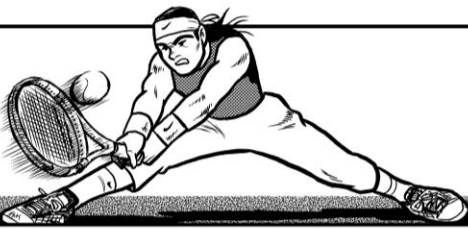


しかしナダルは
フォアハンドで
相手を振り回す
下げてから…



ナダルの
自らのサーブは
グランドスラム
レベルの
40mと
大ポイント
を奪った

「いくら打っても追いつかれる」というプレッシャーを与えるという意味で強力な武器と言えるのだ



さらに Nadal の信じられないくらいのカートリングの広さは相手に：



わざと相手を中途半端なポジションにおびき出すためのバックハンドスライスも

切り返される場面が多くなっている



試合前半はうまくいっていたフェデラーの切り札



これまでアドコートから打っていた速いスライスサーブを同じコースへの変えフェデラーのタイミンを外して奪ったポイントが大き

この場面ではこんな発想を持てるとはスゴイ

3-2 (ナダルリード) となって



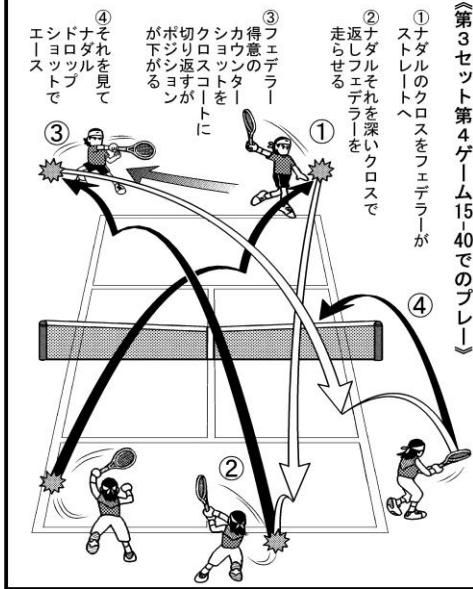
第4セットは両者の全仏は対決の執念がぶつかり合っているタイプに達している



デューイスから2いいサーブが入っている

カンジンなときに攻めのファーストサーブを入れるというのはGSの必須条件なのです

しかもこのゲームは



① Nadal のクロスフェデラーがストレートへ
② Nadal それを深いクロスで返しフェデラーを走らせる
③ フェデラー得意のカウンタースロットを切り返すがボジションが下がる
④ それを見て Nadal ドロップショットでエース



ナダルのショットは球質が重くその相手がアウトと判断しても急激に落ちて入るほど

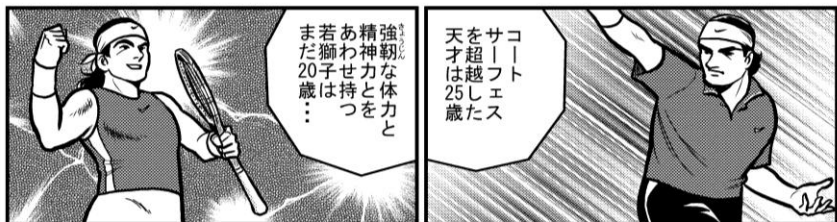
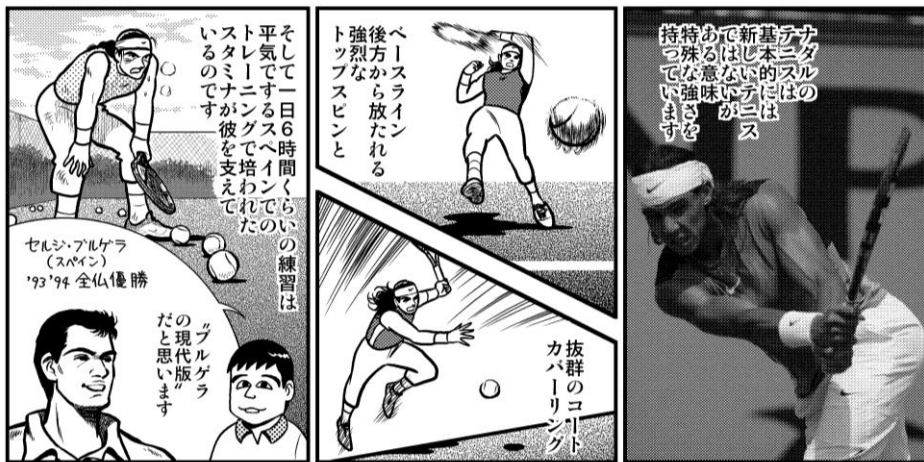
そのためフェデラーも身体が伸びた重心の高いスイングを強いられることになったのである



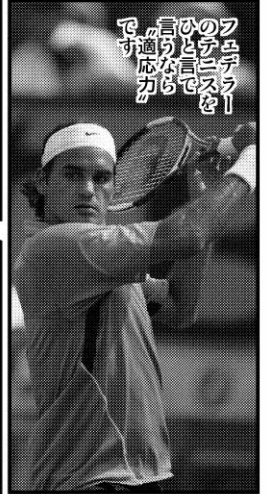
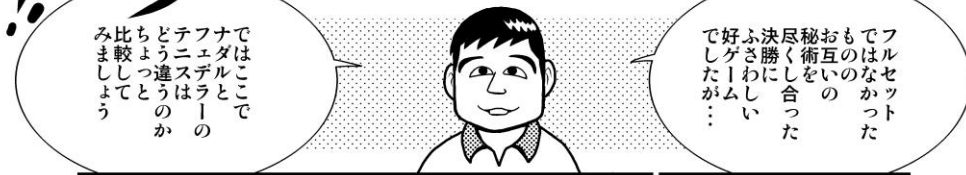
第3セットを落とすと苦しいと必死で食らいつくフェデラーだったが



ナダルの強烈フォア精密機械のようなフェデラーのスイングを狂わせていき第3セットは6-4 ナダル



ロジヤラフ時代... あーやっおし言ひつれえ 0



テニスクラシックBreak誌掲載(日本文化出版) まんが:いしかわせいぢゅん

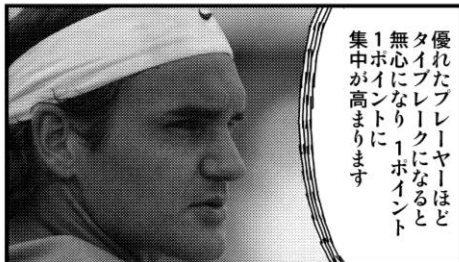


攻めあす
という気が
持たず
大切な
なんです



あ

ラッキー
相手が
楽にな
るから
楽にな
るから
楽にな
るから



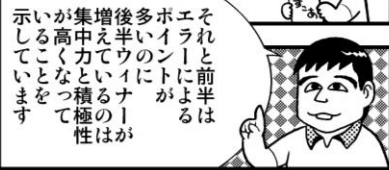
優れたプレーヤーほど
タイブレークになると
無心になり1ポイント
1ポイントに
集中が高まります

- 第4セットのタイブレーク
- =ファーストサーブ
 - =セカンドサーブ
 - フォア ダウンザラインヘウィナー ①-①
 - バックハンドアウト ①-1
 - フォア ネット ①-2
 - バックハンドスライスアウト 2-②
 - 回り込みフォアアウト 3-②
 - リターンアウト ④-2
 - フォアハンドアウト ⑤-2
 - バックボレー ウィナー 5-③
 - フォアボレー ウィナー 5-④
 - リターンアウト ⑥-4
 - フォアスイングボレー ウィナー ⑦-4

確かに第4セットのタイ
ブレークでのファーストサーブ
の確率はすごく高いですね



その意味では
皆さんも練習で
タイブレークを
やってみると
集中力が高まると
思っていますよ



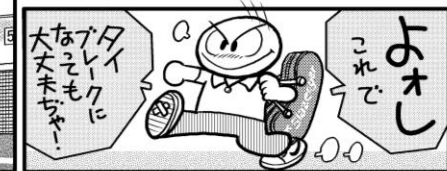
それは前半は
ポインによる
多量のポイントが
増えているので
増えるにつれて
集中力が高まると
思っていますよ



食らった
ダンゴ

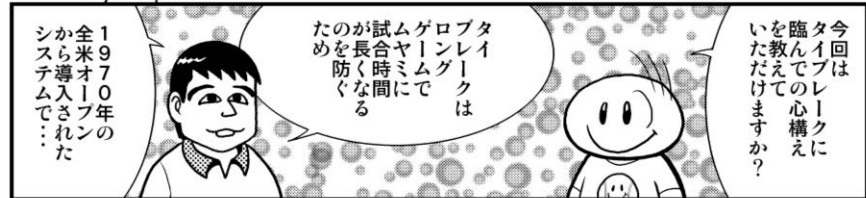


これにハカは学生時代の
必死でタイブレークの
やり方を覚えました
（1年生は審判もやら
れるから）



よし
これで
タイブレークに
大丈夫

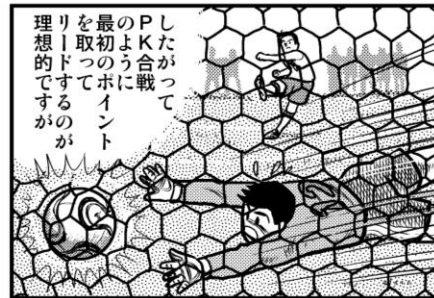
山崎の スパと解決のあな



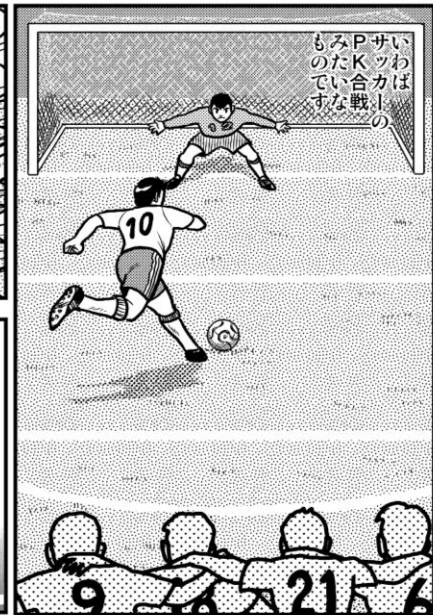
1970年の
全米オープン
から導入され
たシステムで

プロテニス
ゲームは
長時間に
わたって
プレーする
ため

今回は
タイブレークに
臨んでの心構え
を教えてください
ますか？



PK合戦
の最初の
ポイント
を取って
理想的な
プレーが
できる



サイド
の試合は
Pの試合
の試合は
Pの試合
の試合は



そのためには
やはりファースト
サーブを入れた
い



それから
ボレーが
できるよう
になる



1本のミニ
ブレークが
勝敗を左右
する
タイブレーク
では
セカンドサーブ
に
よりプレッシャー
がかかるから